

みんなのギカイ

令和元年5月臨時会並びに令和元年6月定例会の
市議会の内容をわかりやすくおしらせします

目次

臨時会……………	P 1～
Pick up ………	P 4～
一般質問……………	P 5～
きかせて!あなたの未来 ……………	P 11



臨時会

新たに役員の改選が行われました。

議長

上田 徳



昭和23年12月生まれ
室生向洲
期数 5期

【ひとこと】
議論を尽くして是々非々を明確に示し、爽やかな議論で議会運営を進めます。

副議長

山本 裕樹



昭和45年12月生まれ
大宇陀小附
期数 2期

【ひとこと】
議員としてどのような判断、行動をしなければならぬかしっかりと考えて有志の議員の皆様と共に頑張りたいと思います。

監査委員

西岡 宏泰



昭和35年8月生まれ
大宇陀野依
期数 2期

【ひとこと】
監査の結果を市長、議会へ報告し、市民のみならずへ公表することにより、行政の適法性あるいは妥当性を確保するとともに、宇陀市行政の透明化を図ります。

就任あいさつ

庭のひまわりは、太陽に向かってすくすく背を伸ばし、今では背丈を越え、まもなく花をつける季節となりました。市内の田圃は日増しに株分け〈分蘖〉が進み色濃く大地に根を生やしています。

5月17日の臨時会におきまして大多数の議員からご推挙を受け、議長に再選させていただきました。

宇陀市が進めなければならぬ宇陀市総合戦略の重要課題に対し、市長が計画の見直しと事業の変更を発言されてから市民の皆さまには大変ご心配をお掛けしています。

美榛苑の指定管理者の指定については、議会制民主主義の原則を疑うような振る舞いの中で、議会の考え方をまとめ宇陀市の将来を見据えシッカリとした根拠に基づき、調査を実施し関係者と議論・討論を重ね市民の皆さまに安心していただける議会運営を山本副議長と共に努めて参ります。

宇陀市の夏は、各地域で趣向を凝らした夏祭りが行われ、地域に活気が沸くこの時期、子や孫たちがふる里への期待と希望を持って帰ってきます。それらの人々に誇れるまちとなるよう皆さまのご支援ご協力を切にお願い申し上げます。



新しい委員会構成も決まりました。

総務産業常任委員会

街の将来構想など政策や企画、財政に関すること、防災、行政改革など総務に関すること、森林資源の活用、観光商工振興、農業など経済に関すること、都市計画、道路管理、上下水道など都市整備に関するものを審査します。



【委員長】 松浦利久子
 【副委員長】 亀井雅之
 井谷憲司 宮下公一 西岡宏泰
 山本裕樹 奥隆

福祉文教常任委員会

障がい者福祉、高齢者福祉、介護保険、子育てなど健康福祉に関すること、市立病院の経営、ゴミや公害など環境に関すること、小中学校の運営・指導、スポーツ振興、文化財保護、生涯学習など教育行政に関するものを審査します。



【委員長】 廣澤孝英
 【副委員長】 井戸家理夫
 多田與四朗 上田徳 八木勝光
 菊岡千秋 寺脇慶治

議会運営委員会

議会を円滑に運営するためのものです。

【委員長】 菊岡千秋
 【副委員長】 宮下公一
 井谷憲司 松浦利久子 廣澤孝英 井戸家理夫

特別委員会

予算審査特別委員会

【委員長】 井谷憲司
 【副委員長】 八木勝光
 多田與四朗 菊岡千秋 西岡宏泰 松浦利久子
 寺脇慶治 奥隆

専決処分承認審査特別委員会

【委員長】 上田徳
 【副委員長】 山本裕樹
 多田與四朗 井谷憲司 菊岡千秋 宮下公一
 西岡宏泰 松浦利久子 亀井雅之
 井戸家理夫
 内容等は別記

奈良県広域消防組合議会議員

多田與四朗

議会だより編集委員会

【委員長】 井谷憲司
 【副委員長】 松浦利久子
 八木勝光 西岡宏泰 廣澤孝英 亀井雅之
 寺脇慶治

臨時会にて特別委員会を設置致しました。

【委員会名】

専決処分承認審査特別委員会

【調査内容】

- ①承認第3号：専決処分の承認を求めることについて〔保養センター美榛苑に係るもの〕に関する審査及び関連事務調査。
- ②公の施設の指定管理者の指定に関する事項。

【委員会の設置】

本審査及び調査は、地方自治法第109条及び委員会条例第6条の規定により委員10人で専決処分承認審査特別委員会を設置する。

【審査及び調査の権限】

本議会は、上記に掲げる事項の審査及び調査を行うため、地方自治法第100条第1項（※1）及び同法第98条第1項（※2）の権限を専決処分承認審査特別委員会に委任する。

【審査及び調査期限】

専決処分承認審査特別委員会は、上記に掲げる審査及び調査が終了するまで審査及び調査を行う。

【審査及び調査経費】

本調査を要する経費は、100万円以内とする。

（この経費とは、委員会に出席頂いた証人への交通費や弁護士にアドバイス頂くための弁護士費用等です）

【理由】

今臨時会での議案である承認第3号美榛苑の指定管理者を専決処分したことの承認に関する審査をするにあたり、市長より総務産業常任委員会での審議の申し出がありました。しかし、専決処分に至った選定委員会会議録等、承認議決を行うに足りる判断材料の資料を市長に求めるも提出がなく、審査ができませんでした。そこで、議会ではさらに調査権限の強い、地方自治法第100条第1項並びに同法第98条第1項に基づく特別委員会に付託替えをし、引き続き審査を行うこととしました。

（※1）地方自治法第100条第1項…普通地方公共団体の議会は、（中略）当該調査を行うため特に必要と認めるときは選挙人その他の関係人の出頭及び証言並びに記録の提出を請求することができる。

（※2）地方自治法第98条第1項…普通地方公共団体の議会は、（中略）当該地方公共団体の長、教育委員会、（中略）その他法律に基づく委員会又は委員の報告を請求して、当該事務の管理、議決の執行、及び出納を検査することができる。

6月定例会

宇陀市のこんなことが決まりました。

6月定例会
今回の議案は

市長提出議案 …… 7件
人事 …… 5件
計12件

今号では
この中から
3つを
Pick up

全ての議案名と結果は議会事務局に
お問い合わせ下さい。

Pick up 1

宇陀市手話言語条例の
制定について継続審査
となりました。

福祉文教常任委員会に付託された議案第35号「宇陀市手話言語条例の制定について」は、委員会で審議された結果、継続審査となりました。

こんな質問が出ました

質問 手話言語条例検討委員会の協議の中で反対意見はありませんでしたか。

答弁 十二人の委員は、賛成であったが、他の障害のある方へのアプローチは、どうするかという意見も出ました。

質問 他の自治体での制定がされている、他の障害のある方へのコミュニケーション条例の必要性について市はどのように考えていますか。

答弁 コミュニケーション条例の策定の必要性は十分感じており、早急に準備に取り掛かろうと思っています。

質問 条例制定についてどのような市の取り組みを考えていますか。

答弁 条例制定については、広く市民の方に周知する取り組みを実践させていき、コミュニケーション条例を制定する際に、他の障害のある方への対応も含めて、十分検討する必要があると感じています。

Pick up 2

補正予算（第1号）が成立
しました。
補正予算額は、1億837
3万9千円となりました。

令和元年度一般会計補正予算（第1号）では、プレミアム付き商品券事業やうだ産フェスタ事業等の内容が盛り込まれました。

こんな質問が出ました

質問 うだ産フェスタの開催時期等の詳細についてお聞きします。

答弁 11月30日（土）、12月1日（日）の2日間を予定しています。内容については、宇陀の菓草は全国的にも周知されつつありますが菓草以外でも宇陀の良さがいっぱいあると思うので、今後どのようなものを発信するのか、早急に実行委員会を開催していきます。

質問 プレミアム付き商品券事業の対象者等、詳細についてお聞きします。

答弁 対象者は、非課税の方7600人、3歳未満の子ども400人で、1冊5000円の商品券を4000円で購入でき、最大5冊まで購入できます。

『プレミアム付き商品券事業とは』
10月からの消費税率引き上げに伴い、低所得者や子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起する事を目的としています。

市内小中学校及び幼稚園に空調（冷房）設備が設置されます！

近年、全国各地で最高気温を更新し、学校生活における児童・生徒の熱中症をはじめとする健康状態に不安を及ぼすことが懸念されています。国では小中学校普通教室や幼稚園の空調設置率100パーセントを目指し、各市町村に対して、『ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金』を活用しての空調（冷房）設備の設置を進めています。

宇陀市においても、小・中学校、幼稚園の空調（冷房）設備が、順次設置されます。

●大宇陀・室生・菟田野地域の各小・中学校

(工期) 6月3日～9月17日
(予算) 1億3446万円

●榛原地域の各小・中学校

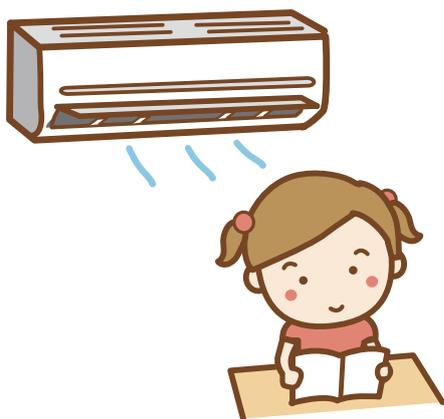
(工期) 6月7日～9月24日
(予算) 1億5867万2520円

●市内の公立幼稚園

(工期) 5月20日～9月10日
(予算) 4233万4920円

●市内の保育所は設置が完了しています。

児童・生徒の体調管理、そして教育環境を整える意味においても一日も早く設置工事が完了することを期待します。



●多田與四朗議員が表彰されました

議会議員として勤続15年、榛原町制及び宇陀市政の振興に努められ、その功績は著しいものがあるとして、第95回全国市議会議長会定期総会において、多田與四朗議員が表彰されました。

定例会3日目の冒頭、上田議長より表彰状が伝達されました。

●平成13年4月榛原町議 初当選



一 般 質 問

聞いてみたいな
こんなこと



一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？



まつらりくこ
松浦 利久子
議員

児童虐待の防止対策について

質問 小・中学校において虐待についてのアンケートや聞き取り調査などは定期的に行われていますか。

答弁 直接虐待に関するアンケートは行っていませんが、「いじめに関するアンケート」を年1〜2回程度行っています。小学校低・中・高学年用、中学校に分け、質問事項を設定しており、質問内容以外に書けなかったことを自由に記入できるように配慮しています。そのきっかけをもとに個別の聞き取りにつなげて、子どもや保護者のサインを見落とさず、子どもへの思いをキャッチできることがより効果的であると考えます。

質問 今年度から子ども未来課へ社会福祉士が配置されるようになりましたが、どのような役割をもたれていますか。

答弁 これまでの支援体制の見直しや関係機関との連携整備及び強化を図っています。学校内で福祉の面から支援を行うスクールソーシャルワーカーとしての活動を行っており、子ども未来課所属ですが各学校へ派遣し、直接保護者や教職員の支援も

行い学校との連携の強化を図り虐待予防の観点からも活動を行っています。

質問 最近では電話や対話による相談窓口に加え、虐待に関してだけではなく、SNS（メールやライン）による教育相談窓口を設置している都道府県が多くなっています。誰もが相談しやすい環境をつくるのが被害者、潜在的加害者にとって大事ではないかと考えますが、市の考えをお聞かせいただけますか。

答弁 SNSを活用した有効性は十分理解できるのですが、いずれも都道府県や政令指定都市のような大きな自治体での取り組みで、宇陀市は相談員の確保体制の整備等を含め独自の導入は現状では難しいと考えています。学校以外の相談窓口として全国共通ダイヤル「189」、奈良県教育委員会の『電話教育相談あすなろダイヤル』・「メール相談 悩みならメール」、法務省の「子どもの人権110番」などの国や県の取り組みを学校を通じて子どもたちや保護者に周知し、その活用を呼びかけているところです。

●その他
里親制度の啓発について質問をしました。
今後、宇陀市広報掲載や、関係機関への啓発に力をいれていくとの答弁がありました。



にしおかひろやす
西岡 宏泰
議員

企業誘致と線引きについて

質問 市街化調整区域に工場を建てるのができますか。

答弁 市街化調整区域について「建築物を建ててはいけない区域」「建築禁止区域」でないという点を是非ご理解をいただきたいと思います。現に奈良県では、産業の活性化、地域の活性化を図るために市街化調整区域の規制緩和が行われています。一定の要件を満たしたうえで、都市計画法に基づき、開発審査会の議を経て了承された場合には、工場の立地が可能であります。

質問 線引きの見直し、規制範囲の緩和及び撤廃を行政として行いますか。

答弁 奈良県決定となる都市計画に関する変更等については、市の意見聴取が義務付けられています。都市計画に関する計画の樹立、変更などの事案が生じた際には、市の合意の下に進められています。奈良県との連携のもとに、都市計画行政を司って参る所存でございます。

副市長の責任と任務について

質問 国や県とのパイプ役としての責務についてどのようにされますか。

答弁 副市長の選任同意を頂いたという意味では国や県とのパイプ役となる事が役割であると認識しております。県幹部や職員と面会し意見交換させて頂きました。繋がりという意味では機会を作りパイプ役と言うことで今後構築して努力していきます。

質問 職員との関係をどのように構築されますか。

答弁 職員からも期待されていると認識しています。就任時の挨拶において職員と共に汗をかくと申し述べさせて頂きました。市長は職員との意思疎通が図れなかった、また難しい状況であったと感じています。職員と市長とのパイプ役としてのコミュニケーションが大事であり、今後もつなぎ役として多くの職員と話をしていきます。

質問 議会との関係をどのように修復されますか。

答弁 議会への関係も取りつつコメントさせて頂き修復します。

●その他意見・要望
議論をし色々と答えを出して頂き、良いものにはアクセルを踏み駄目なものにはブレーキをかけて頂きたいと要望します。



やぎ かつひこ
八木 勝光
議員

住宅リフォーム助成制度の復活について

質問 平成24年から26年度の3年間、宇陀市には「住宅建築・リフォーム工事助成制度」がありました。この制度の概要と実績を問います。

答弁 工事金額の10分の1、10万円を限度として助成していました。3年間で、285件、助成金額約2803万円、工事総額では約6億1375万円でした。

質問 かなりの実績もある制度なのに、何故廃止されたのか、その経緯を問います。

答弁 当初から3年を目途として事業を開始しました。持家と賃貸借とのバランスがとれないこと、定住促進につながっているか懸念されたこと、98事業者が事業実施したが、うち40業者が3年間で1件の受注にとどまるなど中小企業振興策としてはやや難がありました。転出抑制の面でも3年間で明らかな効果は見られませんでした。

質問 住民の住環境の改善、経済波及効果が約12億円（総務省計算式で算出）と市内経済への貢献等公共性も高く、定住促進にもつながる大変良い制度であり、全国では約600自治体で実施しています。制度の復活を求めます。

答弁 市では定住促進奨励金、空き家対策・起業支援事業補助、宇陀市産木材利用促進事業等の住宅関連助成を実施しています。住宅リフォーム助成については、限られた財源の中で総合的に検討していきます。

美榛苑再開後の運営状況と今後の展開について

質問 美榛苑が4月25日より一部再開し、待ち望んでいた市民や市外の利用者からも大変歓迎されています。再開後の運営状況を問います。

答弁 日帰り入浴利用者は5227人、レストラン利用者は2580人、昨年同期と比較して日帰り入浴では、767人の減少です。

質問 他の部門の今後の予定は。

答弁 宴会は6月15日から再開しています。宿泊は7月6日からです。

質問 市民からはどのような声が届いていますか。また、従業員の処遇の改善等はどうなっていますか。

答弁 再開を喜ぶ声が多いが、メニューへの不満や評価、今後への期待も寄せられています。従業員の時間給は引き上げられ、処遇の改善はなされています。接遇等の職員研修も実施されています。

●その他の意見

新しい指定管理者が厳しい条件の中で頑張ってもらっている。我々議員も色んな形で支援をしていきたい。



かめい まさゆき
亀井 雅之
議員

菟田野子ども園新築工事における進捗状況と安全対策について

質問 『菟田野子ども園新築工事』は、令和2年4月開園を目指すとの約束しながらも、市長の二転三転する計画変更等により混乱が生じ、平成30年第4回定例会一般質問において明らかとなったように、5か月遅れの9月開園となつた。

工事請負契約金額は5億3570万円、工期は令和2年7月30日としているが、工事に遅れを出さないための工程管理と対策は万全か。

また、菟田野小学校敷地内での建設ということもあり、通学児童への安全対策や授業中の防音対策等の配慮とともに、関係機関への懇切丁寧な説明は十分になされているのか伺う。

答弁 工事請負契約終了後の5月15日を皮切りに、工事業者との定例会議をこれまで4回実施。工程及び工事内容の確認を行っています。

今年度は、敷地造成工事と躯体工事を予定しており、菟田野小学校・菟田野保育所の保護者、菟田野地域に在住する大宇陀子ども園の保護者、菟田野小学校教職員への説明を行っており、ご理解いただいた上で工事の着工を計画しています。

なお、説明会では、①菟田野子ども園建設にかかる安全対策②開園までのスケジュール③開園後の関係区域の安全対策④建設中の小学校の運営についての説明と提案をさせていただいています。

また、それぞれの説明会を経て、保護者並びに教職員のみならず、大きく4つの課題をいただき、①工事期間中の「希望の坂」の安全対策（小学校に出入りする車両と登下校時の児童の安全確保）②工事期間中の運動会・入学式・卒業式等の学校行事開催時の安全対策③「希望の坂」の冬期凍結時の安全対策④小学校敷地内での安全対策について特に心配されており。

今後工事を進めていく上で、これら以外の安全対策が必要となる可能性がある可能性も否定できないので、関係機関と情報共有・連絡調整を図りながら、安全第一で進めてまいります。

●その他の質問

市道の改修と安全対策について





いどい えまさお
井戸家 理夫
議員

児童・生徒の安全確保について

質問 通学中の児童、保護者を次々と刃物で襲う事件や、自動車が散歩中の園児らの列に突っ込んで園児が犠牲になる痛ましい事件が起っています。そこで

「宇陀市通学路交通安全プログラム」や、関係機関との連携、同プログラムの見直しなど、児童生徒の登園・登下校の安全対策について、現状の取り組みや成果をお聞きます。

答弁 平成27年3月に「宇陀市通学路交通安全プログラム」を策定し、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるよう通学路の安全確保を図るための体制を構築しました。このプログラムでは、各学校から報告があった危険箇所を取りまとめ、桜井警察署、奈良国道事務所、宇陀土木事務所、市建設課、市総務課、市教育委員会から構成される通学路安全対策推進会議において、合同点検を実施し、対策が必要な箇所についてハード面、ソフト面の両面から具体的な実施メニューを検討し、関係機関で連携を図りながら、対策を実施しています。そして市内のこども園、幼稚園、保育園等を対象と

した通学路の現状、課題、改善点についても調査を実施しました。調査の結果、各施設においてそれぞれに対し予防対策を講じた安全保育、安全管理に努めています。小学校を対象とした「通学路交通安全プログラム」のようなものは現在ありません。通園時や園外保育における事故の予防と適切な対応を行うために具体的なマニュアルを8月頃をめどに策定を予定しています。必要な環境を整備し、事故が生じる可能性を念頭に置いて、行政、教育委員会、保育現場で事故予防対策に努めてまいります。

質問 児童・生徒自身の意識付けに向けた安全教育の取り組みの状況についてお聞きます。

答弁 各学校は、学校安全計画を策定し（学校保健法第二七条）その中で生活安全、交通安全、災害安全の三領域について危険から身を守るための知識や行動力を身につけるための安全教育、及び安全指導を行っています。常に安全に対する意識を高め、自分の身は自分で守るための行動が取れるよう、発達段階に合わせた計画的に指導しております。

まとめ
かけがえのない命を皆で守るといふ思いと行動・積極的な防衛・見せる防犯・事故事件がおこらない街づくり、皆さんと共に。合言葉。



てらわき けいじ
寺脇 慶治
議員

地域公共交通の整備と現在の運行状況について

質問 現在宇陀市には、宇陀市市営有償バス榛原大野線・大宇陀南部線・らくらくバス・宇陀市デマンド型タクシーなどがありますが、市民の方のように周知しているのか、お聞きます。

答弁 宇陀路探訪ガイドを道の駅・病院・地域事務所などで配布しています。自治会・まちづくり協議会などに配布も考え、またうだチャンネルなど広報媒体も活用したいと思えます。

質問 運行状況と自由乗車は可能か、お聞きます。

答弁 一便あたり約0.7人から2.2人の乗車です。前年に比べると少し減っています。6月補正で公共交通網新制度設計調査研究事業が決まり、停留所までの距離、病院・買い物など利便性を大きく向上させる公共交通通を目指します。また自由乗車区間を設けることは可能ですが、宇陀市の道路事情を考えると自由乗車は厳しいと考えられます。

市道の改修と交通安全対策について

質問 榛原駅前、十年前に比べると大変寂しくなっています。市はどのような再建計画を持っているのか、お聞きます。

答弁 以前計画をしていた案はまともならず、現在は再検討中ですが、市道12号線は今年度をめどに進めています。また奈良県東部の玄関口としての役割を担っている場所と認識しています。今後の計画については早急に取りまとめ、斬新な発想、夢のある発想で、(駅前)に求められる機能(駅前)に欲しいもの(絶対に必要なもの)で何(駅前)など、まちづくり推進課を軸に駅前の開発に取り組んで行きたいと思えます。

質問 市が所有している土地についてどのような活用を考えているのか、お聞きます。

答弁 まず最優先にミスタードーナツ跡地の活用策を考えるべきだと認識しています。その他の土地についても、例えばコンテナハウスやトレーラーハウスの活用などいろいろなアイデアが出ていますが、ワーキング部会的な会議体を組織して、具体的な取り組みを行っていきたいと思えます。

その他
一日も早い計画策定と実施を願います。



おく たかし
奥 隆
議員

宇陀市総合計画について

質問 平成25年3月に出された宇陀市総合計画で目標値を定めていた項目の達成、未達成の部分を尋ねます。

答弁 達成率の良い項目は観光客数の増加、交流イベントの増加です。未達成の項目は、図書貸出冊数の増加はしているものの、目標値は下回っています。今回平成31年3月に出された第2次総合計画では毎年、事業の目標値と実績値の分析をしてPDCAを行い施策の実行に向けて取り組んでいきます。

質問 平成29年の市民アンケート調査では、公共交通の充実が最も重要度が高く、満足度が低いと結果が出ています。そこで公共交通を民間、行政と観光も含め、地域の公共交通の空白地を回り、地域住民の交通弱者課題の解決策の提案をしました。宇陀市では、まだまだ公共交通の整備もされていない状況で免許返納を余儀なくされるのは、農家を営む高齢者の方や、自家用車を必須としている方々にとっても非常に困難な状況です。今後高齢ドライバーへの

配慮、また自動ブレーキなど安全機能がついた車のみ運転できる高齢ドライバー専用の限定免許制度の創設を国では進めています。市として今後の対策を尋ねます。

答弁 車そのものを買換えたと高価な買い物でありますし、現在利用されている車に、比較的安価で後付として踏み間違い防止装置を取り付けることも行われています。今後、後付の装置設置に関して、社会全体がどのように流れるかを見極め、宇陀市としてどのような支援が出来るのか、また運転に自信の持てない方については、今後公共交通機関をご利用いただけるような仕組みも検討していきます。

質問 2015年に国連サミットで合意された2030年に達成するための17の世界共通のゴールと169のターゲットSDGs（持続可能な開発目標）があります。企業などでは、SDGsを取り入れ社員共通の目標を持ち、会社の目標達成へと取り組んでいます。こうした取り組みを行政としても、市民の方を交えて住民の共通目標を意識付け市民と共に住みよいまち、健康なまちづくりをお願いします。市としての考えを尋ねます。

答弁 今回の第2次総合計画でSDGsの課題を宇陀市に照らし合わせて施策の実現に取り組みます。



いたに けんじ
井谷 憲司
議員

食品ロスの削減の取り組みについて

(SDGs(エスディージーズ)の取り組み)

質問 5月24日に参院本会議にて全会一致で『食品ロスの削減の推進に関する法律』が成立した。世界には、栄養不足の状態にある人々が多数存在する中で、日本では、まだ食べられるのに廃棄されていく食品が大量にある。(国民ひとり1日にお茶碗1杯分を廃棄しているのに相当)宇陀市でも今後、そうした状況を周知し、市民が日常生活の中で少しでも食品の廃棄を少なくする取り組みを啓発し推進していく必要性があると考え、宇陀市の取り組みについてお聞かせ頂きたい。また、これは、SDGs(持続可能な開発目標)でも取り上げられ、世界的な取り組みのひとつでもあります。

答弁 今回の食品ロスの削減の取り組みは、SDGsの12番目の目標『つくる責任・使う責任』の中に、『2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の1人当たりの食料の廃棄を半減させ(中略)食品ロスを減少させる』というターゲット

があります。食品ロスを削減させるための宇陀市の取り組みについては、今後国の方針等が示されてから具体化するものと思われるが、市民をはじめとするステークホルダー(利害関係者)から『選ばれた地方自治体』となるためには、目指すべき未来であるSDGsへの取り組みが必要と考えています。

【語句の説明】

SDGs(エスディージーズ)とは2015年の国連総会で、2030年までの長期的な国際社会共通の課題に取り組み、『持続可能な開発目標』として採択され、17の目標と169のターゲット(達成規準)があり、食品ロス削減の取り組みは12番目の目標で位置付けられています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs(エスディージーズ)のロゴ



ひろざわ たかひで
廣澤 孝英
議員

近鉄榛原駅周辺地区のまちづくり計画について

質問 市道十二号線の進捗状況について。

答弁 今年度中の開通に向け、鋭意取り組んでまいります。

質問 榛原駅前の振興計画は、何も決まっていないのではないのか。

答弁 総合的なまちづくりとしてのコンセプトは、企画、実行を推進出来ていない。宇陀市の玄関口、情報発信の中心地となる場所であるが、以前から構想されてきたが、一朝一夕には進みません。市道十二号線の整備を行ない、ミッド跡地、久保石油跡地など活用策を考え、企画している。現状では、一つ一つのパーツについての活用策での体制になっているが、全体のコンセプトづくりを進める中で早期に動いていく決意しております。

質問 ひのき坂西側私有地の活用について。

答弁 担当でコンセプトづくりを進めているが、色んな意味で検討すべき点が多く、時期については、現時点では、お答え出来ない。

質問 市長の榛原駅前のビジョンについて。

答弁 まちづくり包括協定の基本構想をまとめながら、一つ一つできる部分をやっていく。私なりの手法としては、活用できる場所を市内外に広く周知して、例えば、ネットでスペースマーケットを使い活用策を募集するなど、早急に検討を進め、しっかりとコンセプトを持った形でまとめたいと思います。

【空地となっている榛原駅前ミッド跡地】



ただ よしろう
多田 與四朗
議員

宇陀市の将来展望について

● 奈良県との包括協定について

質問 奈良県との包括協定について、4地区の進捗状況について。

答弁 榛原地区は基本構想から見直しして基本計画を策定していかなければならない。構想の見直しから策定までは、しばらくの日数がかかる見通し。宇陀松山地区は、検討協議会や県との調整を終え、知事の最終確認の段階。菟田野地区と室生は検討協議会を経て今秋に県との合意に向けて取り組んでいる。個別協定までは各地区とも進んでいない。(部長)

質問 県との関係修復にどのような内容でされたのか。

答弁 末光総務部長はご心配なさらない。村井・村田両副知事も人口減少など宇陀市は厳しい状況であるが、ご相談にのらせて頂く。(副市長)

答弁 今年は、要望等で県に伺ったことはない。(市長)

質問 県になぜ、要望・相談等で訪問しないのか。

答弁 訪問の意味は大きい。一定の取組の中でどういうものを要望していくかをまとめ、見極め、しっかりと検討してからのこと。必要だと思ったら、市の方で構想をまとめ、計画まで一定の時間はかかるが必要に応じて進んでいく。(市長)

質問 県内他市の進捗状況を見てどう思われますか。

答弁 協定を結んだからといって評価は難しいが、個別協定まで行くのはそう簡単ではない。断念されるところも聞いている。市としての実行可能な計画、組織として実現に向けた体制づくり、財政も含め推進体制を整えなければならぬ。大事な基本は、総合的に取組むこと。(市長)

● 地方創生の進捗状況と検証について

質問 第一次地方創生総合戦略の検証と成果について。

答弁 全体的な評価は、人口減対策本部会、地方創生総合戦略策定委員会等でPDCAサイクルに基づき、数値目標(KPI)数値など、や事業進捗の検証を行い、問題点も含め検証、二次戦略へと取組んでいくが、各パッケージごとに見ると目標数値を下回って未達成が目立つ。(部長)

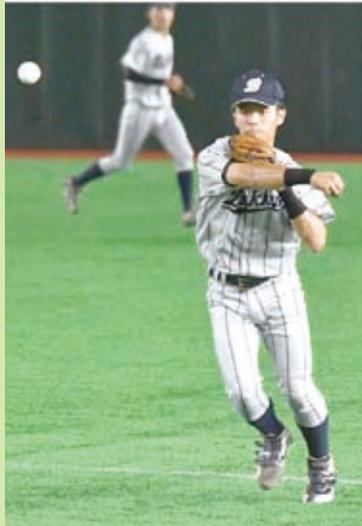
質問 第二次総合戦略の今後の取組や進め方について。

答弁 国の方向性は関係人口の拡大と移住者を増やすとの基本方針。二次総合戦略と二次総合計画のオーバーラップする期間もあるので、庁内検討を重ねていく。(部長)

きかせて！あなたの未来

No. 16

宇陀市のワカモノが将来の夢を語るコーナーです。



小学3年からやり始めた野球も、14年近くなりますが、不思議なもので少年野球チーム、中学クラブチーム、高校野球と在籍するチームの最終学年には最高の舞台を踏むことが出来ました。そして今回、大学の最終学年では、まさかの快進撃で初めてリーグ優勝をし、第68回全国大学野球選手権大会の出場を勝ち取りました。大会では、大学初の決勝に進出することが出来、結果は準優勝でしたが、これまでにない充実感を感じる事が出来ました。親元を離れ4年目。日常生活の大変さを実感し、野球を続けさせてもらえること自体にも感謝できるようになりました。そして、野球で結果を残すことが最大の恩返しだと頑張ってきました。大会中は、当時の少年野球チーム、中学、高校の球友達がわざわざ東京まで応援に駆けつけてくれました。『みんなが応援してくれるから頑張れる!』これからも皆様の期待に応えられるよう日々精進して参ります。

前田 勇大さん（佛教大学硬式野球部4回生 21歳・榛原）

次回 9 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2	3	4	5	6	7
		本会議 (議案提案)		本会議 (議案質疑)		
8	9	10	11	12	13	14
	常任 委員会		常任 委員会	決算 委員会	決算 委員会	
15	16	17	18	19	20	21
	敬老の日	予算 委員会			本会議 (一般質問)	
22	23	24	25	26	27	28
	秋分の日		本会議 (一般質問)	本会議 (討論・採決)	予備日	
29	30					

10:00 開会（日程・時間等変更の場合があります）

募集します!

きかせて！あなたの未来

上記のコーナー「きかせて！あなたの未来」に登場していただける宇陀市内にお住まいのワカモノの皆さんを募集します。

今、未来に向かって頑張っていること、将来の夢などをこのコーナーで語りませんか？

住所・電話番号・氏名・年齢・学生の方は学校名と学年・保護者氏名・社会人の方は職業を明記の上、自分の思いを270字以内にまとめ、写真を添えて議会事務局へメール(gikai@city.uda.lg.jp)または持参か送付して下さい。

年齢は問いません。いきいき輝くワカモノの皆さんの応募をお待ちしています。

編集 後記

編集委員
西岡 宏泰

宇陀市誕生14年目を迎える令和元年。人口減少、少子高齢化、美穂苑指定管理者選定、菟田野子ども園建設開園の遅れ(9月予定)、宇陀市立病院電子カルテ契約変更など、様々な課題がある宇陀市政。美穂苑の指定管理者の選定の市長による専決処分に関しては「専決処分承認審査特別委員会(以後特別委員会)」が設置されました。特別委員会におきましては、明確な情報を収集すると共に、早期終結へと努めます。本来ですと特別委員会や常任委員会は委員会室や会議

室での開催ですが、今回の特別委員会は多数の傍聴者が来られることを予測して本会議場を使用しています。また、うだチャン11の生放送を活用し、市民の皆さんへ正確な情報を届け、情報公開に努めたいと考えます。さて、多田與四朗議員が全国市議会議長会において市議会議員勤続15年表彰されました。これまでの経験を活かし我々を牽引していただき、共に市政の発展へと繋げて参ります。

お問い合わせ(議会事務局)

電話 0745-82-5771

IP電話 0745-88-9082

FAX 0745-82-0139

宇陀市ホームページ

<https://www.city.uda.nara.jp/>